

記事タイトル: 「アイルランド 最後の日」 2024 年 1 月 20 日 1 年 6 組 服部 和紀

ついにアイルランド研修最終日になってしまいました。そんな最終日の集合は、朝の 4 時 15 分。早朝に起きなければいけないので、昨晚は、早めの 9 時にベッドに入りました。朝はホストファミリーにこれまでのお礼を言って、朝早くに送っていただくことを申し訳なく思いながら、集合場所のアタイカレッジに向かいました。

バスでダブリン空港に向かい、朝ご飯で€9 のスモークサーモンサンドイッチと€1.5 のカプチーノを飲みました。おいしかったです。

1 本目のダブリン→フランクフルトの飛行機は 1~2 時間ほどで、終始寝ていたので、体感、一瞬で到着しました。途中でチョコレートをもらったらしいのですが、眠っていたのでもらいませんでした。少し悔しい。

2 本目のフランクフルト→羽田の飛行機は行きよりは短縮されたとはいえ、13 時間のとても長いフライトでした。自分は、ルービックキューブやパソコンやスマホでゲームをしたり、寝たりして時間をつぶしました。地球の西から東へ向かっているので、体感、普段の 2 倍ほどの速度で時間が進みます。夜になり、機内食の夕食を食べて少し寝るだけで、すぐに朝になっていて、本当にすぐに朝食が運ばれてきました。そのため、全然お腹がすいていなかったのと、朝食のほうれん草のソテーが超しょっぱくて最高だったので、飛行機を降りたらすぐに 180 円のコーラを飲んで口直しをしました。今更ですが、ヨーロッパの高い物価に麻痺していたので、180 円のコーラに対して何も思わずに買ってしまいました。アイルランドのコーラは、500ml で€3.5(約 560 円)でとても高いです。

3 本目の羽田→札幌のフライトはさすが日本の ANA といった感じで、フランクフルト→羽田のドイツの航空会社ルフトハンザとは違い、タッチパネルの反応も良くて、シートも比較的柔らかくて座りやすかったです。自分は終始寝ていたので特に感想はありませんが、窓から雪景色を見たときは、やっと帰ってきたと実感しました。

このアイルランド研修を通して、特に英語力がとても上達したというわけではありませんが、ホームステイをしたことなど、新しい経験をたくさんすることができました。

一緒にアイルランドに来てくれたみんな、ありがとう！！



朝早すぎ(朝 4 時)